

分野	基礎分野	科目名 単位（時間）	情報科学・演習 1 単位（30 時間）	授業 形態	講義 演習	開講 時期	1 年 前期			
講師名 所属	高野 香子 医療法人 高野胃腸科 統括部長 元九州大学院特任助教									
授業概要	<p>ICT の普及によって、コンピューターをインターネットに接続している場合だけに留まらず、日常的にオンラインシステムを利用しているサイバー空間が広がっている。このような状況で、我が国では法の整備が広がり、個人としてセキュリティへの対応能力の向上が求められている。本講義では、今後の ICT 国際社会で生き抜くための基礎的知識の修得と判断能力の向上を目的として、情報リテラシーに関する基礎的な知識、技術、法律、倫理までを幅広く学修する。</p> <p>コンピューターによる情報収集、情報処理方法を学び、データを整理・分析するための統計の基礎的知識を学修する。</p>									
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報化社会における情報の役割と意義、問題意識を養うための基礎的な知識を養う</li> <li>2. 情報を活用する上での適切な判断力と態度を養う</li> <li>3. 情報とデータの整理、統計の基礎的知識について学び科学的な思考ができる能力を養う</li> <li>4. コンピューターによる情報収集、情報処理方法について学び、看護の実践へ活用できる能力を養う</li> </ol>									
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系統看護学講座 基礎分野 統計学 医学書院</li> <li>2. 系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院</li> </ol>									
参考文献										
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度		出席状況	
学修に向けたメッセージ	<p>現代の情報化社会の中で、情報を適切に活用するために必要な基礎的な知識と倫理を学ぶ内容で構成しています。デジタルネイティブ世代の皆さんには、身近にあるがゆえに感じにくくなってしまっている情報の持つ重要性や危険性についても考えてもらいたいです。また、量的データ整理に必要となる統計の基礎的知識を学びます。授業では Excel を用いた演習がありますので、ファイルの入力や保存等、パーソナルコンピューターの基本的な扱いには慣れた状態で授業に臨んでももらいたいです。また統計の基本的な用語の意味についても、事前に調べておくことが望ましいです。</p>									
授業計画										
回数	講義内容				教授・学習方法		担当講師			
1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報の定義と特徴 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 情報とは</li> <li>2) 情報の特性</li> <li>3) 情報の認知と意思決定</li> </ol> </li> <li>2. 社会と情報 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) インターネットのしくみとネットワーク</li> <li>2) ICT（情報通信技術）とその活用</li> </ol> </li> </ol>				講義		高野 香子			

	3) 情報化による社会の変化 4) 情報社会で求められること		
2	3. 情報へのアクセスとリスク 1) 電子情報のリスクとセキュリティ 2) インターネット上で役立つ情報へのアクセス 3) インターネットに関する基礎知識と注意点 4. ICT の活用 1) 技術革新と医療(AI、IoT、遠隔診療等)	講義	高野 香子
3	5. 情報に関する法律 1) 不正アクセス行為の禁止等に関する法律 2) 著作権法 3) 電子署名及び認証業務に関する法律 4) 特定電子メールの送信の適正化等に関する法律 5) サイバーセキュリティ基本法 6) 個人情報保護法 6. 情報リテラシー 1) 情報リテラシーとは 2) 情報倫理	講義	高野 香子
4	7. 統計学・医療統計学とは	講義・演習	高野 香子
5	8. 情報とデータのまとめ方・図示法	講義・演習	高野 香子
6	9. 平均・中央値・分散・標準偏差	講義・演習	高野 香子
7	10. 相関分析	講義・演習	高野 香子
8	11. 回帰直線	講義・演習	高野 香子
9	12. クロス集計	講義・演習	高野 香子
10	13. 検定とは	講義・演習	高野 香子
11	14. $\chi^2$ 二乗検定	講義・演習	高野 香子
12	15. 中心極限定理	講義・演習	高野 香子
13	16. 正規分布	講義・演習	高野 香子
14	17. t 検定	講義・演習	高野 香子
15			
	終講試験	試験(評価)	単位認定者 高野 香子

分野	基礎分野	科目名 単位（時間）	人間工学 1単位（15時間）	授業 形態	講義	開講 時期	1年 前期		
講師名 所属	松尾 重明 久留米工業大学工学部 教授								
授業概要	ヒトが行動する際には、機械が動くことと同じく重力やモーメントなど力学的要素が働いている。看護動作においてもこれを無視することはできない。力学的な考察をすることにより、看護作業の効率化および負荷低減の技術を身につけることが可能となる。当科目では、工学的視点からヒトの基本動作や看護援助動作を解析および考察を行い、看護作業の効率化および負荷低減の知識を身につけることを目標とする。								
科目目標	1. ヒトの動作を人間工学の視点から理解し、看護にいかすことができる 2. 医療機器の安全使用に必要な物理学的知識を理解できる								
テキスト	適宜プリント配付								
参考文献	小川 鑛一，東京電気大学出版局，基礎人間工学								
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照								
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度		出席状況
学修に向けたメッセージ	看護の実践現場には医療従事者や患者様が不便に感じていることが沢山あります。その不便さは改善されないことが多く、仕方がないことだと我慢していることが多いと思います。しかし、少しの工夫で使いやすくなることや、さらに安全になることがあります。このような看護学領域の課題の解決に人間工学が役立ちます。ぜひ皆さんが多く疑問に気づき、それを解決する工夫を創造してくれることを期待しています。								
授業計画									
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師			
1	1. 人間工学とは			講義		松尾 重明			
2	2. 人の基本動作			講義		松尾 重明			
3	3. ボディメカニクスを理解するための力学			講義		松尾 重明			
4	4. 看護業務と生体への負荷			講義		松尾 重明			
5	5. 看護の安全と人間工学			講義		松尾 重明			
6	6. 治療・検査・処置に関する物理			講義		松尾 重明			
7									
8	終講試験			試験(評価)		単位認定者 松尾 重明			

分野	基礎分野	科目名 単位（時間）	論理学 1 単位（15 時間）	授業 形態	講義 演習	開講 時期	1 年 前期			
講師名 所属	達富 洋二 佐賀大学教育学部 教授									
授業概要	論理的に考え、考えたことを分かりやすい文章で書く技能を習得する。 「書き換える」「要約する」「段落に分けて書く」「意見文を書く」の演習を通して、自分の考えが伝わるように書く技能を習得する。									
科目目標	人間関係をひらくコミュニケーション能力をもつ看護師を目指し、論理的に考えることについて理解するとともに、考えたことを分かりやすい文章で書く技能を習得する									
テキスト	毎回の教材は、担当者が用意する。									
参考文献	毎回の授業の中で、話題と関係する内容のものを、現物とともに紹介する。									
評価方法	第 1 回から第 6 回までに小課題を課します。第 8 回に、本科目の学習内容の習得状況を問う試験を行います。これらを総合して評価します。 なお、小課題はメールによる提出を求める場合があります。									
	筆記	○	レポート	○	口頭試問		授業態度		出席状況	○
学修に向けたメッセージ	医療を取り巻く環境の変化や個々の患者に合った看護を展開する際には、科学的根拠に基づいた看護：EBN (Evidence-Based Nursing)を提供していくことが重要です。またその際には論理的に考えることが要請されます。さらに、その考えを筋道立てて表現をすることで、医療チーム内でしっかりと見解を共有することが出来ます。この授業では論理的に思考し、表現するための基礎的知識と方法を学びます。									
授業計画										
回数	講義内容				教授・学習方法		担当講師			
1	1. 論理的に考えるということについて文章例を精読することで理解する。				講義		達富 洋二			
2	2. 「伝わるように分かりやすく書く」の演習を通して分かりやすい文章を書く技能を習得する。				講義・演習		達富 洋二			
3	3. 「誰にでもできる要約」の演習を通して分かりやすい文章を書く技能を習得する。				講義・演習		達富 洋二			
4	4. 「質の高い要約」の演習を通して分かりやすい文章を書く技能を習得する。				講義・演習		達富 洋二			
5	5. 「段落を意識して書く」の演習を通して分かりやすい文章を書く技能を習得する。				講義・演習		達富 洋二			
6	6. 「自分の考えを書く」演習を通して分かりやすい文章を書く技能を習得する。				講義・演習		達富 洋二			
7	7. 「自分の考えが伝わるように書く」演習を通して分かりやすい文章を書く技能を習得する。				講義・演習		達富 洋二			

8	8. 「自分の考えが伝わるように書く」ことについて課題に取り組む。 終講試験	講義・演習 試験(評価)	単位認定者 達富 洋二
---	---	-----------------	----------------

分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	心理学 1 単位 (30 時間)	授業形態	講義	開講 時期	1 年 前期		
講師名 所属	東 巧 元 学校法人純真学園純真短期大学こども学科 講師								
授業概要	心理学は自己理解、他者理解、人間関係形成のための基礎知識を学ぶ								
科目目標	人間の心理や行動の基礎にある原理を学び、人間関係形成へと発展するための基礎的知識を養う								
テキスト	コンパクト新心理学ライブラリ[1] 心理学 サイエンス社								
参考文献	講義時に紹介する。								
評価方法	筆記試験 (60%)、授業への参加状況 (40%) 詳細は別紙「評価計画」参照								
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度		出席状況
学修に向けたメッセージ	心理学は、「こころ」という直接見ることのできない対象を扱う学問です。この授業では、「こころ」のあり方を捉えるために、人間の行動と心理状態について理解することに関わる心理学の基礎概念を学びます。看護の場では出会う人々のこころのあり方を科学的に洞察し、最終的には看護実践において心理学の知識を踏まえた対処・支援を行うことができるようになることを目指してください。								
授業計画									
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師			
1	1. 心理学の歴史と方法			講義		東 巧			
2	2. 感覚			講義		東 巧			
3	3. 知覚			講義		東 巧			
4	4. 学習			講義		東 巧			
5	5. 記憶			講義		東 巧			
6	6. 思考			講義		東 巧			
7	7. 言語			講義		東 巧			
8	8. 動機づけ			講義		東 巧			
9	9. 情動			講義		東 巧			
10	10. 発達			講義		東 巧			
11	11. 性格			講義		東 巧			
12									
13	12. 対人関係			講義		東 巧			
14									
15	終講試験			試験(評価)		単位認定者 東 巧			

分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	人間関係論 1 単位 (30 時間)	授業形態	講義 演習	開講 時期	1 年 前期			
講師名 所属	上瀧 純一 NPO法人ここねっと・くるめ代表 臨床心理士 公認心理師 古賀 義 道ノ尾病院 臨床心理士 元大学教授									
授業概要	人間関係の基礎となる発達理論を基礎に自他の心理状態への理解を深める。また患者理解、患者とのかかわり方の基礎となるカウンセリング理論について学ぶ。さらに、具体的なコミュニケーションの取り方や臨床現場における自己理解・他者理解の方法と信頼関係を成立させる方法について演習を通して学習する。									
科目目標	1. 人間関係およびカウンセリングの基礎的理論を学び、対人関係の具体的方法として、接近の仕方、人との話し方、話の聴き方、カウンセリングの基礎的理論とその技法を身につける 2. 集団における人間関係のあり方や自己表現の方法を学び、自己理解と他者理解を深める 3. 生活場面における人間関係において、よりよい関係を築くためのスキルを養う									
テキスト	生活にいかす心理学[Ver. 2] 古城和子（編著） ナカニシヤ出版 プリント配布									
参考文献	講義時に紹介する									
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート	○	口頭試問		授業態度	○	出席状況	
学修に向けたメッセージ	医療職として働くにあたって、患者や患者家族、同僚や他職種と良好な関係を築くことは必要不可欠です。これから医療従事者を目指す学生が知っておくべき人間関係に関わるさまざまな知見や基礎的な技術について、学修する授業になります。自分を知り、他者を知ることの大切さを一緒に学びましょう。									
授業計画										
回数	講義内容	教授・学習方法			担当講師					
1	1. ガイダンス：人間関係論とは何かを学び、看護における人間関係について知る。	講義・演習			臨床心理士 上瀧 純一					
2	2. 自己理解と他者理解：人間関係における自己を知り、他者を理解することの必要性について学ぶ。	講義・演習			臨床心理士 上瀧 純一					
3	3. 自己開示：人間関係における、自分のことを他者に伝えることの重要性について学ぶ。	講義・演習			臨床心理士 上瀧 純一					
4	4. 集団の中の個人：個人を取り巻く集団の影響力について学ぶ。	講義・演習			臨床心理士 上瀧 純一					
5	5. チームにおける人間関係：チームにおけるコミュニケーションとリーダーシップについて学ぶ。	講義・演習			臨床心理士 上瀧 純一					
6	6. 患者理解の基礎となる精神分析的・発達の考え方について学ぶ。エリクソンのライフサイクルを軸に自分の発達段階を振り返る。	講義・演習			臨床心理士 古賀 義					
7	7. 親子関係で形成される家族内人間関係が、学校や	講義・演習			臨床心理士					

	職場での人間関係に及ぼす影響を知る。 医療現場でのカウンセリングの事例を示して、人間関係が心身全体にどのような影響を及ぼすかについて知る。		古賀 義
8	8. 人間関係の基礎としてのコミュニケーションについて学ぶ。傾聴と受容のロールプレイ。聴く体験、聴かれる体験、聴かない体験、聴かれない体験。コミュニケーションスキルについて体験する。	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
9	9. 非言語的コミュニケーション。伝言ゲーム等を通して人間を理解する方法を学ぶ。交流分析とエゴグラムについて講義する。実際にエゴグラムを実施して自己理解を深める。ナースとしての理想像と現実の自分とを比較して自分を見つめる。	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
10	10. 人間関係の問題解決に向けて、今の自分の問題点と必要なことについて考える。 カウンセリングの意義と技法について講義する。 傾聴、受容、事柄と意味への応答、感情への応答について事例を交えて講義する。	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
11	11. 受容的・精神分析的カウンセリングについて講義する。集団へのかかわりのメリットについて触れる。	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
12	12. 患者理解の方法を知る。	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
13	13. ストレスマネジメントを通しての自己理解と他者理解	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
14	14. 信頼関係をすすめるための演習 (ブラインドウォークを通して)	講義・演習	臨床心理士 古賀 義
15	15. 信頼関係をすすめるための演習 ロールプレイングとアサーション・トレーニング 終講試験	講義・演習 試験(評価)	臨床心理士 古賀 義



分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	人間と社会 1 単位(15 時間)	授業形態	講義	開講 時期	1 年 前期			
講師名 所属	益田 仁 中村学園大学教育学部 講師 高崙 浩平 九州大学大学院 ティーチングアシスタント									
授業概要	本講義の目的は、社会的存在として人間を理解する視点を身につけることである。人間をその置かれた社会的な環境から捉える視点を獲得するために、本講義では具体的なテーマ(家族・ジェンダー・地域・労働・教育・福祉など)に基づいて人間と社会の関係性やその相互作用について学び、人間と社会の基礎的な理解や、現代社会の諸特徴の理解を目指す。看護現場で出会う人びとは、生物学的な存在(ヒト)であると同時に、社会的な存在でもある。本講義を通して人間と社会についての理解を深め、看護の対象者を生活者としてとらえる視点を獲得することにより、豊かな看護実践の一助となれば幸いである。									
科目目標	1. 人間にとっての社会とは何かを理解できる 2. 現代社会で生活する人間と社会との関係を考えることができる 3. 現代社会の特徴と社会の変化を理解できる									
テキスト	指定はしない。 講義冒頭で講義冊子を配布するので、毎回の講義には当該冊子を必ず持参すること。									
参考図書	社会学 A. ギデンズ 松尾精文ほか訳 而立書房 ※講義で扱ったテーマをより深く知りたい場合は、参考書の該当箇所を参照すること。									
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度		出席状況	○
学修に向けたメッセージ	「社会学」…なんだか難しく聞こえますか？そんなことはありません。社会学は非常に身近なテーマを扱う学問です。私たちの生活・暮らしと密接に関係している様々な事柄を社会学的な視点から考えることは、社会人としての教養のみならず、看護職として必要とされる視点のひとつだと思います。分かりやすく、ドキドキ、ワクワクする講義を目指しますので、しっかりと学びましょう。こまめに新聞やニュースに目を通し、社会の出来事を知る習慣を身に付けてください。									
授業計画										
回数	講義内容				教授・学習方法		担当講師			
1	1. 社会(科)学の基礎的思考法 因果関係・相関関係・疑似相関など、科学的思考法を学び、社会の諸事象を因果で結ぶトレーニングをする。				講義		益田 仁			
2	2. 家族、ジェンダー 家族の定義・類型・機能を踏まえ、ジェンダー、性別役割分業、近代家族について学んだ上で、近代化・産業化が家族のあり方(およびその前提であり結果であるジェンダー観)				講義		益田 仁			

	をどのように変容させたのかについて理解する。		
3	3. 労働・教育 近年の日本社会における働き方の変化について、教育や格差の問題と関連させながら考える。	講義	高寄 浩平
4	4. 都市化と地域 コミュニティや都市化の概念について理解した上で、近年の日本社会を「地域社会」の観点から検討する。	講義	高寄 浩平
5	5. 福祉社会学 近年の日本社会の人口構造や社会の変化を踏まえ、子育て支援・介護・障害者福祉・貧困対策といった社会福祉への社会学的な捉え方を理解する。	講義	高寄 浩平
6	6. 社会的逸脱 アノミー論やラベリング理論といった、社会的な規範から逸脱する行為に対する社会学的な考え方を学ぶ。	講義	高寄 浩平
7	7. まとめ 講義の全体を振り返り、まとめを行う。	講義	高寄 浩平
8	終講試験	試験(評価)	単位認定者 高寄 浩平

分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	教育と学習 1 単位(15 時間)	授業形態	講義	開講 時期	1 年 前期			
講師名 所属	植田 啓嗣 福島大学人間発達文化学類 講師									
授業概要	本講義は、履修者が保健医療福祉領域における患者・サービス利用者の複雑・多様化するニーズに応えうる実践者として求められる教育・学習理論を学び、それらの知識に基づきながら自律的かつ主体的に学習する必要性を理解できることを目標とする。前半は、教育の目的と人間の発達を理解した上で、どのような教育方法が望ましいのかについて考える。後半は、成人教育や自己教育について学んだ上で、どのように医療・看護分野に応用するかについて考える。									
科目目標	1. 教育の意義と目的を理解し、教育方法および評価方法を理解できる 2. 学習の目的をふまえて主体的に学習する必要性が理解できる									
テキスト	使用しない。									
参考文献	1. 看護のための教育学 中井俊樹・小林忠資編著 医学書院 2. やさしい教育心理学 鎌原雅彦・竹綱誠一郎 有斐閣アルマ その他、授業中に適宜提示する。									
評価方法	試験の結果(80%)、授業内の小レポート(20%)を総合して評価する。 詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート	○	口頭試問		授業態度		出席状況	○
学修に向けたメッセージ	この講義では、人と人との様々なかたちで関わる看護や保健指導の場において、教育理論や教育方法の基礎知識が、少しでも役立つことを目指しています。講義での学びが、看護や保健指導のどのような場面で活用できるだろうかと想像しながら学修を進めてほしいです。									
授業計画										
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師				
1	1. 教育の意義と目的			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
2	2. 人間の発達理論			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
3	3. 学習理論			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
4	4. 動機づけ			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
5	5. 教育評価			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
6	6. 成人教育理論(アンドラゴジー)と生涯学習			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
7	7. 看護師のキャリア開発と自己教育			講義（遠隔）		植田 啓嗣				
8	終講試験			試験(評価)		単位認定者 植田 啓嗣				

分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	英語講読 1単位(30時間)	授業形態	講義 演習	開講 時期	1年 前期			
講師名 所属	吉本 靖子 元 長崎県立高校 英語教諭									
授業概要	医療に関する専門用語、語法などを学び、処方箋や薬品の説明なども取り入れた、病理に関する英文を理解できるようにする。また、英語圏と日本での医療の違いにもふれながら、医療英語を学ぶ。									
科目目標	1. 看護場面での英語を理解するための基礎英語力を身につける 2. 看護に関する英語の文献を読解する力を高める									
テキスト	English for Medicine-Revised Edition- 医療・看護のためのやさしい総合英語 金星堂									
参考文献										
評価方法	筆記試験、プレゼンテーション詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート		口頭試問	○	授業態度		出席状況	
学修に向けたメッセージ	グローバル化が進む中、日本国内外において、日本の看護師には外国人患者および外国の医療従事者とコミュニケーションをとるための英会話能力がますます必要となっています。この授業では、英語を通じて健康および看護に関連するトピックスを学び、学んだ内容についてのスピーチおよびグループワークに取り組み、英語を「話す・聞く」力の向上を重点的に学びましょう。									
授業計画										
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師				
1	医学英語：ポリオとワクチン接種			講義・演習		吉本 靖子				
2	医学英語：薬の処方箋			講義・演習		吉本 靖子				
3	医学英語：気圧と片頭痛			講義・演習		吉本 靖子				
4	医学英語：内科健診と薬剤の説明			講義・演習		吉本 靖子				
5	医学英語：結腸ポリープとがんの進行			講義・演習		吉本 靖子				
6	医学英語：呼吸器症状と気管支鏡検査			講義・演習		吉本 靖子				
7	医学英語：2型糖尿病のリスク			講義・演習		吉本 靖子				
8	医学英語：中間まとめ（復習）			講義・演習		吉本 靖子				
9	医学英語：動脈疾患と定期検査関連			講義・演習		吉本 靖子				
10	医学英語：健康保険とホームドクターとのコミュニケーション			講義・演習		吉本 靖子				
11	医学英語：アレルギー反応			講義・演習		吉本 靖子				
12	医学英語：新型コロナウイルス感染症			講義・演習		吉本 靖子				
13	医学英語：胸やけと内視鏡検査			講義・演習		吉本 靖子				
14	医学英語：中年期以降の女性の身体変化やホルモン治療			講義・演習		吉本 靖子				
15	終講試験			試験(評価)		単位認定者				

			吉本 靖子
--	--	--	-------

分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	健康と運動 1 単位 (15 時間)	授業形態	講義 演習	開講 時期	1 年 後期			
講師名 所属	矢次 春風 九州大学 基幹教育院 学術研究員									
授業概要	本科目は講義と演習を予定している。講義では、健康と運動との深い関わりを学ぶことにより看護の対象である有疾患者における健康の保持・増進、疾病の予防のための運動療法の知識を得る。演習では、運動（身体を動かすこと）の効果や楽しさを体験できる授業を展開する。また家庭、通学・通勤途中、スポーツなどの様々な場面で簡単に取り入れられる運動の種類、方法、さらにはその効果を学ぶことによって、看護に携わる看護師自身の健康づくりの方法を習得する。									
科目目標	1. 健康と運動との関係を理解し、運動のメリット・デメリットを理解できる 2. 健康の維持・増進のための運動の意義、目的、および手法を理解できる 3. 運動による健康への影響と効果を理解できる									
テキスト	配布資料をもとに授業を展開する。									
参考文献	配布資料をもとに授業を展開する。									
評価方法	出席状況、授業態度、および試験成績から総合的に評価する。 詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度	○	出席状況	○
学修に向けたメッセージ	現代は急激な高齢社会の到来や慢性的な運動不足と栄養過多による半健康人の増加など、生活の質（QOL）の向上や健康寿命の延伸が大きな課題となっています。こうした現状を背景に、文化としてのスポーツおよび運動が身体や心および社会生活に及ぼす影響を明らかにするとともに、スポーツおよび運動の本質や意義、健康との関わりを探り、スポーツ医・科学的な諸問題を考察および実践できる、医療人としての資質を学びましょう。									
授業計画										
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師				
1	1. 運動の身体への影響と効果			講義		矢次 春風				
2	2. 運動による疾病の予防と改善			講義		矢次 春風				
3	3. 日常生活における運動のあり方			講義		矢次 春風				
4	4. 各種運動と体力づくりの方法			講義・演習		矢次 春風				
5										
6										
7	5. まとめ			講義		矢次 春風				
8	終講試験			試験(評価)		単位認定者 矢次 春風				

分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	生活環境学 1単位(15時間)	授業形態	講義 演習	開講 時期	1年 前期			
講師名 所属	佐藤 豊 元 九州大学知的財産本部 学術研究員(シニアコーディネーター) 飛奈 卓郎 長崎県立大学看護栄養学部 准教授									
授業概要	現在は超高齢社会である。在宅ケアのあり方が今後ますます重要な課題になると思われる。在宅ケアのためには、住宅のなかにケアを可能とする空間が必要となる。その空間を実現するためのキーワードのひとつがバリアフリーである。したがって、その内容を具体的に理解することが適切なケアを提供するものの基礎知識として要求される。健康と食生活の関わりについて基礎的な理解を深めることに視点をおいて講義する。また、最新の情報を取り入れながらライフステージ別の食の課題について学ぶ。本講義は、栄養学の基礎知識となる講義として一部位置付けている。									
科目目標	1. 安全で快適な生活を送るために必要な住生活環境に関する生活行動や生活環境について、科学的に理解できる 2. 人の健康に大きく関与する食生活について学び、ライフサイクルの各段階における食の課題について理解できる									
テキスト	講義資料はその都度配布する。									
参考文献	外山義著 「自宅でない在宅－高齢者の生活空間論」 医学書院 講義内容に応じてその都度紹介する。									
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度		出席状況	
学修に向けたメッセージ	社会的な問題を含めた住環境は、障害の有無にかかわらず人間が生活するうえでもっとも基本的に存在する問題であり、医療・福祉に携わる職種、特にリハビリテーションにかかわる専門職においては基本的知識として認識されていなければならない分野です。この授業では、地域環境においてはどのような住環境を考慮すべきかについて、住宅の平面図の作成や住環境の整備案などについて実践的な課題に取り組む。食の環境については、人間の生命維持に必要な栄養素や生体構成成分の機能、それらの代謝および身体機能恒常性維持の機構について学びます。一方、健康の保持・増進、疾病予防のために必要な食事について、日常の食生活と結び付けながら学びましょう。									
授業計画										
回数	講義内容				教授・学習方法		担当講師			
1	1. 住宅の基礎知識 1) 住宅を構成する要素 2) プランの見方				講義・演習		佐藤 豊			
2	2. 居住空間の構成				講義・演習		佐藤 豊			
3	3. 介護保険制度にみる高齢者用施設のあり方				講義		佐藤 豊			
4	4. バリアフリーを具現化するための基準				講義		佐藤 豊			
5	5. 食事の基礎知識 1) 食事の意義				講義		飛奈 卓郎			

	2) 栄養バランス		
6	6. 栄養・食育対策 1) 食育の推進 2) 食事バランスガイド 3) 日本人の食事摂取基準 4) 国民健康・栄養調査	講義	飛奈 卓郎
7	7. 現代社会と食生活 1) ライフサイクル別の食の課題 2) 食と健康に関するトピックス	講義	飛奈 卓郎
8	終講試験	試験(評価)	単位認定者 飛奈 卓郎



分野	基礎分野	科目名 単位(時間)	家族関係論 1単位(15時間)	授業形態	講義 演習	開講 時期	1年 後期			
講師名 所属	福山 由美 佐賀大学医学部 准教授									
授業概要	1. 家族看護が必要となっている社会背景を知る。 2. 家族周期における発達課題を知る。 3. 対象者・家族をワンユニット(一つの単位)として捉えるモデルを知る。 4. 看護職者としての家族介入の是非・方法を考えることができる。									
科目目標	1. 家族の特性や機能を理解できる 2. 家族を理解するための理論を知り、家族援助の基本姿勢について自己の考えを述べる ことができる 3. 現代の家族を取り巻く諸問題について自己の考えを述べる ことができる									
テキスト	適宜資料を配布									
参考文献	1. 家族看護学 理論と実践 鈴木和子 渡辺裕子 日本看護協会出版会 2 認知症の人と家族・介護者を支える説明(実践・認知症診療 第1巻) 繁田雅弘(編) 3. 高齢者・難病患者・障害者の医療福祉(シリーズ生命倫理 8) 大林雅之 徳永哲也(編)									
評価方法	レポート[課題:授業中に提示した事例から1つ選択し家族が求める看護について述 べなさい] 演習の参加状況にて総合評価する。詳細は別紙「評価計画」参照									
	筆記		レポート	○	口頭試問		授業態度	○	出席状況	○
学修に向 けたメッ セージ	この授業では、家族とは何かを理解し、現代家族の意識の変化、並びに、家族の各段 階における課題を把握し、看護職としてあらゆる健康レベルの対象とその家族に対す る理解を深めていきます。疾患別の家族看護実践例をもとに、それぞれ特有の家族看 護の方法論と、中核となる家族を単位とした看護の考え方を学びましょう。									
授業計画										
回数	講義内容				教授・学習方法		担当講師			
1	1. 家族看護学が必要となっている社会状況の 変遷: 少子高齢化、晩婚化、未婚率の増加, 虐待など、家 族を取り巻く社会状況の変遷を理解する。 家族の多様性、価値観の多様性、自身の「家族」の 価値観の押し付けの危うさを理解する。				講義		福山 由美			
2	2. 家族周期の段階と健康課題、家族看護理論・ モデル: 代表的な家族周期の段階と健康課題を知り、看護 職として援助の必要性を考える。家族看護の理 論・モデルを知る。				講義		福山 由美			
3	3. 演習事例(後期高齢者家族の事例)				講義・演習(遠隔)		福山 由美			

	グループワークの方法説明、事例紹介	グループワーク	
4	4. 演習事例発表、まとめ	発表（遠隔）	福山 由美
5	5. 演習事例(認知症療養者家族の事例) 認知症の主な症状、グループワーク	講義・演習（遠隔）	福山 由美
6	6. 演習事例発表、まとめ	講義・演習（遠隔）	福山 由美
7	7. 演習事例(神経難病家族の事例) 神経難病の主な症状、グループワーク	講義・演習（遠隔）	福山 由美
8	8. 演習事例発表、まとめ	発表（遠隔）	単位認定者 福山 由美